

J C証券による細野豪志代議士融資に関連する報道について
本件不関与の表明

JC証券という証券会社が細野豪志代議士に対して行ったとされる5000万円の融資がメディア等で話題になっております。私、松田学は、本件融資が行われた時期に同社の役員をしておりましたが、本件には全く関与も関知もしておりませんことを、ここに表明します。

以下は、私に関する事実関係です。

1. 私は昨年2017年春にJC証券の非常勤(社外)取締役役に就任し、本年2018年6月26日付で退任し、現在はJC証券の役職には一切、就いておりません。
2. 非常勤取締役への就任に際しては、私は、同社の日常の業務に直接関わるのではなく、同社に私の席を置くのでもなく、取締役会に出席するだけの社外役員の立場であるとの仕切りで就任しました。
3. その後、何度か取締役会が開催され、私も出席しておりましたが、昨年の夏頃から、私に取締役会の開催の通知が一切、来なくなり、私としては取締役会を通してのみ同社の業務や財務等の状況を把握できる立場であり、取締役会が開催されなければ取締役としての責務も果たせないことから、当時の同社社長(前社長)に何度か、取締役会の開催の時期について質問をいたしました。これに対しては、開催する際には連絡するというのが前社長からの回答でしたので、開催の通知を待つしかない状況でした。
4. 細野代議士に対する同社からの貸付は、そのような状況の中でなされたものであり、私自身、そのような貸付が行われたこと自体、全く承知しておらず、本年春に社長が現在の社長に交代し、前社長のもとでの同社のガバナンス体制に関するチェックがなされるようになり、そのプロセスの中で、私にも再び開催通知が届くようになった取締役会の際において、そのような貸付が存在したことを初めて知ることとなった次第です。
5. この貸付は、私が想像すらしなかったことで、なぜ、このような貸付が行われたのかの理由や経緯についても、一切、私の知るところではありません。
6. なお、私は以前、衆議院議員をしていたことから、細野代議士とは、お互い、顔見知りではありますが、会えば挨拶を交わす程度で、細野代議士とはこれまで、会話といえるほどのお話しすらしたことがありません。

以上が真実です。

細野氏の同社からの貸付に関して、私、松田学の関与は一切ないことをここに表明いたします。

2018年7月10日
松田 学